

『GYAO!』でなにを見てる？

～モバイル動向調査からみた、動画サービスの利用率（その2）～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

- 調査結果 : ①一般的な動画サービスの利用率の年齢推移
②特徴的な「GYAO!」の利用率の年齢推移

■ 調査結果

1. 一般的な動画サービスの利用率の年齢推移

前回、当研究所の報告「動画視聴の実態調査 No.5」にて、一般向けモバイル動向調査における各種動画サービスの利用率全般について報告を行った。今回は、特徴ある利用率を示した「GYAO!」について述べていきたい。

図1に「YouTube」の性年代別の利用率推移を示す。



図1 「YouTube」性年代別利用率推移

シニア層においても30%を超える高い利用率を示す「YouTube」であっても、年齢とともに、利用率は低減してきている事がわかる。また、概ね、男性の方が女性よりも高い利用率を示している事もわかる。

この「YouTube」の例は特殊な例にあらず、他の多くの動画サービスにおいても、年齢が上がるにつれて利用率が低下していくという同様の傾向がみられている。

2. 「GYAO!」でなにを見てる？

しかしながら、その様な多くのサービスとは一見異なる傾向を示したのが、図2に示す「GYAO!」である。

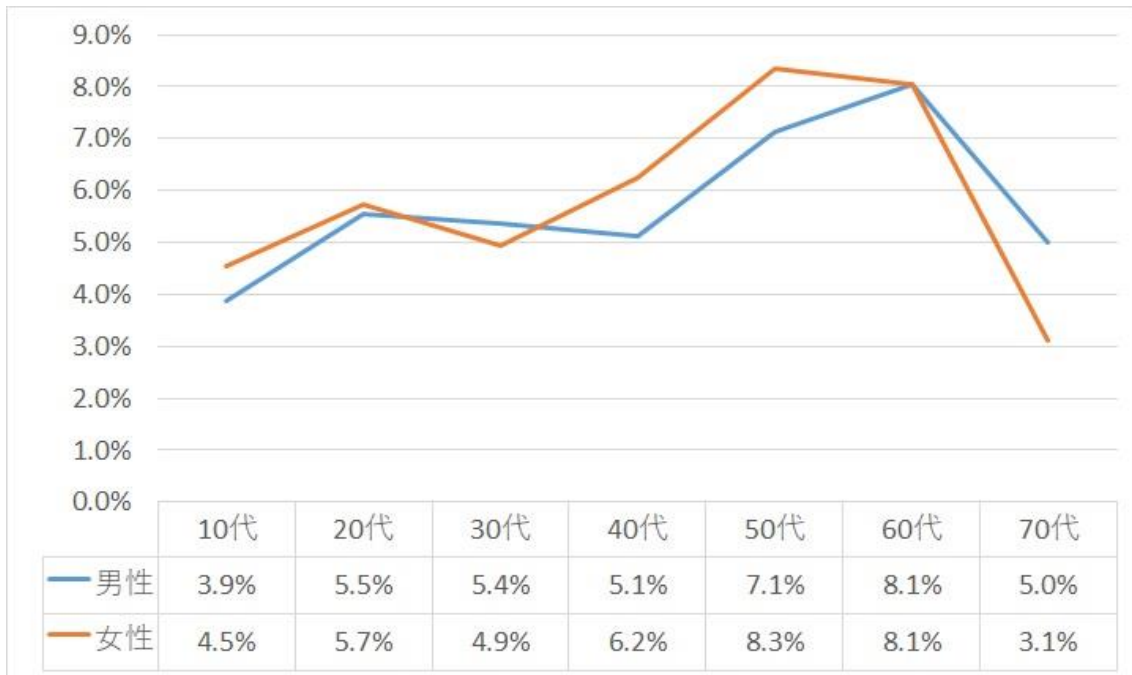


図2 「GYAO!」性年代別利用率推移

最小値が3.9%で最大値が8.1%と最小値と最大値の差分が4.2%程度であり、誤差の範囲に入ってしまうという指摘もあるが、それでも「GYAO!」の場合は、年齢とともに利用率が上昇し、50、60代でピークになるという、「YouTube」に代表される他の動画サービスとは一見異なる利用率の推移を示しているように見える。

これを、一人当たりの平均利用動画サービス数と照らし合わせて考察する。

前回の「動画視聴の実態調査 No.5」の“表1 各種動画サービスの性年代別利用率(MA)”を下に、各年代の一人当たりの平均利用動画数を算出してみると下表となる。

表1 一人当たりの平均利用動画数

(n=6000)	全体	男性	男性	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
動画利用のべ人数	6600	328.0	740.6	636.5	725.3	549.8	518.0	237.5	268.2	519.7	478.6	528.5	395.4	408.6	249.2
一人当たり平均利用サービス数	1.1	1.822	1.954	1.363	1.242	1.19	0.97	0.625	1.524	1.416	1.073	0.942	0.867	0.731	0.555

これより、男女全ての年代を平均した場合の一人当たりの利用動画数は約1.1で、有料無料合わせて、だいたい一人平均1つの動画サービスを利用している事がわかる。動画サービスを一番利用している年代を見てみると、男性は20代、女性は10代で、それぞれ約2.0、

約 1.5 の動画サービスを利用している。

この年代別の一人当たりの利用動画サービス数を、先ほどの「GYAO!」の結果と合わせてみる。

表 1 より、50 代・60 代の一人当たり利用動画サービス数は約 0.7（女性 60 代）～約 1.2（男性 50 代）である。同じく表 1 より、10 代・20 代の一人当たりの利用動画サービス数は約 1.4（女性 20 代）～約 2.0（男性 20 代）であるので、50 代・60 代は 10 代・20 代よりも利用動画サービス数が少ないことになる。しかし図 2 より、「GYAO!」の利用率を見ると、50 代・60 代は 7.1%（男性 50 代）～8.3%（女性 50 代）、10 代・20 代は 3.9%（男性 10 代）～5.7%（女性 20 代）であるので、50 代・60 代の方が 10 代・20 代よりも高い事がわかる。このことは、50 代・60 代は利用しているサービスが少ないが、その数少ない利用サービスに「GYAO!」を選んでいる事を示している。そういう意味で、「GYAO!」の年代別利用率推移は非常に興味深い。

それでは、50 代・60 代に「GYAO!」が選ばれている理由は何だろうか？

「GYAO!」では、「地上波 TV 放送の見逃し配信が無料で見られる」「韓流ドラマが見られる」など様々なサービスが提供されている。しかし同様のメリットは、他の動画サービスでも享受することができ、「GYAO!」だけが提供しているというものでは無い。その他、前身のサービス（※ 1）から起算すれば比較的歴史が長い動画サービスである。50 代・60 代の当該の層は、いまや年齢が比較的上になっているが、今よりも若かったサービスが始まった当初から使っていて、それが今まで継続しているのではないかなど、実に様々な事柄が考えられたが、結論としては、「GYAO!」がこの様な興味深い年代別利用率推移を示す確固たる明確な理由はわからなかった。

以上、今回は、2018 年一般向けモバイル動向調査から、特徴的な年代別利用率推移を示す動画サービスについて報告した。

※ 1：株式会社 USEN プレスリリース http://www.usen.com/cms_data/newsrelease/pdf/2005/20050405_276.pdf

■調査概要

調査名：経年概況調査（一般向けモバイル動向調査）

調査時期：2018 年 1 月、調査対象：全国・15～79 歳男女、調査方法：Web

標本抽出法：QUOTA SAMPLING、性別・年齢（5 歳刻み）・居住で割付、6000 サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087